

原文部分：

## 長く残る流行語とは

「亭主元気で留守がいい」をことわざのようなものと思っていた若い同僚がいる。妻がよく口にしているのだという。もちろん防虫剤のCMで1986年にはやったフレーズである。新語・流行語大賞が来月に30回目を迎えるにあたって過去のトップ10を選んだ。その中の一つだ。

もっとも、亭主は達者で留守が良いという言い回しが日本語大辞典に載っている。妻の望みは昔も今も同じということか。流行語には少し経つと使うのが恥ずかしくなる類いも多い。時を超えて色あせない中身を語ればこそ、長く生き延びる。

「赤信号みんなで渡ればこわくない」も、その好例だろう。大賞が始まる以前、漫才ブームに沸いた80年の作だ。そういえばイラストレーターのみうらじゅんさんの「マイブーム」は97年に入賞し、今では広辞苑にも掲載されている。

時代をさかのぼると、これもかつては新語だったのかと驚

く例に出くわす。たとえば「春一番」である。64年の当欄は、西日本のあちこちの漁村にある季節感あふれる言葉を、4、5年前から気象用語に使うようになったと紹介している。

流行語は世相を映す。よく映すあまり、後の時代からは遠くなる場合もあろう。バブル絶頂の88年の「5時から男」や、89年の「24時間戦えますか」。時々思い出すことはあっても実際に使う機会はない。

さて、トップ10で21世紀に入ってからのものは一つだけだった。今年の大賞の候補は豊作だという。後世に残る名文句が選ばれるだろうか。

2013年11月15日



第 1 节

なが のこ りゅうこうご  
長く残る流行語とは

「亭主元気で留守がいい」をことわざのようなものとおもって  
いた若い同僚がいる①。妻がよく口にしているのだという。  
もちろん防虫剤のCMで1986年にはやったフレーズである②。  
新語・流行語大賞が来月に30回目を迎えるにあたって過去  
のトップ10を選んだ③。その中の一つだ。

もともと、亭主は達者で留守が好いという言い回しが日本  
語大辞典に載っている④。妻の望みは昔も今も同じというこ  
とか。流行語には少し経つと使うのが恥ずかしくなる類いも  
多い。時を超えて色あせない中身を語ればこそ、長く生き延  
びる。



译文

哪些流行语能够长存?

“只要丈夫身体好，不在家里也很好”，我的一位年轻  
同事把此当成了谚语，说是他的妻子常把它挂在嘴边。其  
实（直译：当然），这是1986年流行的一句源于电视除虫  
剂广告的话语。下个月将迎来第30届“新词语与流行语大  
奖赛”，值此之际，主办方特意从以往入选的流行语中又

选出10个最佳的流行语，这便是其中的一个。

实际上，“只要丈夫身体健康，还是别呆在家里为好”这一说法就收录在《日本語大辞典》里。这不说明了妻子的愿望从古至今都是一样的吗？！有很多流行语稍过了一段时间就不好（直译：不好意思）再用了。只有那些经过岁月洗涤不褪色、内涵深刻的才会长存。

- ① **注解** 这里的「同僚」指的是作者的同事。
- ② **注解** 大日本除虫菊株式会社于1986年在电视上做广告，其中的话语「亭主元気で留守がいい」风靡日本，后被选为1986年流行语。此句的意思是，只要丈夫身体健康，努力工作，每月的工资进到家里的账户上就行，而没有必要老呆在家里，如此维系夫妻关系最好不过。这是从妻子的角度来说的。
- ③ **注解** 主办方为自由国民社（出版社），它从1984年12月起开始评选第一届「新語・流行語大賞」。每年举办一次，截止至2013年已举办了30届。「過去のトップ10を選んだ」指出版社为了庆贺“新词语与流行语大奖赛”举办30周年特意从以往30年来入选的流行语中又选出了10个最佳的流行语，以资纪念。
- ④ **注解** 注意这里的「もつとも」和「最も<sup>もつと</sup>」意思不同。这里的「もつとも」也写作「尤<sup>もつと</sup>も」，表示转折，即“话虽如此，但是、不过、可是、实际上……”。



## 生词&例句

**留守**<sup>るす</sup> (1) 看家; 看门。(2) 不在; 不在家。

<例句> ●娘に留守を頼んで出かける。⇒嘱咐女儿看家后出门。

●主人は留守です。⇒我丈夫不在家。

**【CM】** commercial message之略。日语读:「コマーシャルメッセージ」。简称:「コマーシャル」, 穿插在广播、电视中的广告。

**【はやる】**<sup>はや</sup> **【流行る】** 流行; 时兴; 兴旺。

<例句> ●茶髪がはやる。⇒流行染棕色发。

●インフルエンザがはやる。⇒流行流行性感冒。

●あの店は非常にはやっている。⇒那个铺子很兴旺。

**【フレーズ】** phrase。词组; 短语; 话语。

<例句> ●そのフレーズは聞き飽きたよ。⇒那个词都听腻了。

**【あたる】** 在……时候; 正值; 正当。

<例句> ●会を始めるにあたって一言申しあげます。⇒在开会之前, 请允许我说几句话。

●国慶節に当たって心からの祝意を表します。⇒值此国庆节之际表示衷心的祝贺。

**【達者】**<sup>たっしや</sup> (1) 精通; 熟练。(2) 健康; 健壮。

<例句> ●そろばんが達者だ。⇒算盘打得很熟练。

●達者に暮らしていますからご心配なく。⇒我很健康不必挂念。

**【言い回し】**<sup>いまわ</sup> 说法; 措辞; 表达方式。



<例句> ● 言い回しがまずい。⇒ 措辞欠妥。

● 日本語特有の言い回し。⇒ 日语特有的表达方式。

【<sup>たく</sup>類い】 类；同类。

<例句> ● これは虫の類いだ。⇒ 这属虫子之类。

● この類いには関心がない。⇒ 我对这一类不关心。

【あせる】 【<sup>あ</sup>褪せる】 (1) 退色；去色。(2) 模糊；淡去。

<例句> ● 色あせた背広を着た男。⇒ 穿着退了色的西服的男人。

● 失敗の記憶もしだいにあせていった。⇒ 失败的记忆逐渐淡去。

【<sup>い</sup>生き延びる】 幸存；活下来；活过去。

<例句> ● これだけの援助があれば1か月は生き延びられる。  
⇒ 只要有这些援助就能多活一个月。

● あの災害にあった人で生き延びた人はごくわずかだ。⇒ 那次灾害中的幸存者为数极少。

第 2 节

「<sup>あかしんごう</sup>赤信号<sup>わた</sup>みんなで渡ればこわくない」も、その<sup>こうれい</sup>好例<sup>だ</sup>だろう。  
<sup>たいしやう</sup>大賞<sup>はじ</sup>が始まる<sup>いぜん</sup>以前、<sup>まんざい</sup>漫才ブーム<sup>わ</sup>に沸いた<sup>ねん</sup>80年の<sup>さく</sup>作だ<sup>⑤</sup>。そう  
 いえばイラストレーターのみうらじゅんさんの「マイブーム」  
 は<sup>ねん</sup>97年に<sup>にゅうしやう</sup>入賞<sup>いま</sup>し、<sup>こうじえん</sup>今では<sup>けいさい</sup>広辞苑にも掲載されている。  
<sup>じだい</sup>時代を<sup>さかのぼ</sup>ると、これもかつては<sup>しんご</sup>新語<sup>おどろ</sup>だったのかと驚

例に出くわす⑥。たとえば「春一番」である。64年の当欄は、西日本のあちこちの漁村にある季節感あふれる言葉を、4、5年前から気象用語に使うようになったと紹介している⑦。

### 译文

再如，“红灯虽亮，众人同闯不用怕！”这也可算作一个很好的例子吧。这一流行语产生于“新词语与流行语大奖赛”创办之前，也就是在1980年掀起的相声热期间流行起来的。这么说来，我想起了插图画家三浦纯（1958-）先生创造的流行语“mai bu—mu（「マイブーム」：自我流行热）”于1997年入选获奖，现已收录（直译：登）在《广辞苑》里。

追溯已往的年代，我惊讶地发现，一些人们耳熟能详的词曾经是（当年）新造的词语，如“haruichiban（「春一番」：初春第一次刮的较强的南风）”。1964年本栏目曾介绍过它。这是在日本西部地区各渔村使用的一个充满季节感的词语，约在（1964年的）四五年前开始被当作气象术语来使用。

- ⑤ **注解** 「大賞が始まる以前」是指「新語・流行語大賞」创办之前，即1984年之前，而不是本届（第30届）大奖赛之前。
- ⑥ **注解** 这句的主语是“我”，即本栏目作者。
- ⑦ **注解** 「4、5年前から」是指1964年前的四五年，即约在1960年「春一番」被日本气象局当作气象术语来用。



生词&例句

**【好例】**<sup>こうれい</sup> 好的例子；典型。

<例句> ● 好例を示す。⇒ 提供好的例子。

- あの二人は夫唱婦随の好例といえよう。⇒ 那两个人可以称得上是夫唱妇随的典型吧。

**【ブーム】** boom。……热；热潮。

<例句> ● ブームに乗って海外に進出する。⇒ 赶热潮进军海外。

- 開放政策が投資ブームを呼んでいる。⇒ 开放政策带来了投资热潮。

**【沸く】**<sup>わ</sup> (1) 烧开；沸腾。(2) 激动；兴奋。

<例句> ● やかんの湯が盛んに沸く。⇒ 水壶里的水烧得滚开。

- 熱戦で観衆が沸く。⇒ 因为比赛激烈，观众很兴奋。

**【イラストレーター】** illustrator。插图画家。

**【マイブーム】** my boom。(日式英语) 自我热；自我流行热。

**【さかのぼる】**<sup>さかのぼ</sup> **【溯る】** 逆流而上；追溯。

<例句> ● 舟をこいで川をさかのぼる。⇒ 划船溯流而上。

- 太古にさかのぼる。⇒ 追溯到上古。

**【出くわす】**<sup>で</sup> 碰见；偶然遇见。

<例句> ● 思わぬことに出くわす。⇒ 碰到意外的事情。

- 人込みの中で友人に出くわした。⇒ 在人群中碰见了朋友。

**【春一番】**<sup>はるいちばん</sup> (气象术语) 初春第一次刮的较强的南风。





【あふれる】<sup>あふ</sup>【溢れる】 溢出；挤满；充满。

<例句> ●大雨が降って川があふれそうだ。⇒ 下大雨，河水快溢出来了。

●聴衆が会場にあふれる。⇒ 会场里挤满了听众。

●彼の心は喜びにあふれている。⇒ 他心里充满了喜悦。

### 第 3 节

流行語は世相を映す。よく映すあまり、後の時代からは遠くなる場合もあろう⑧。バブル絶頂の88年の「5時から男」や、89年の「24時間戦えますか」⑨。時々思い出すことはあっても実際に使う機会はない。

さて、トップ10で21世紀に入ってからのは一つだけだった⑩。今年の大賞の候補は豊作だという。後世に残る名文句が選ばれるだろうか⑪。



#### 译文

流行语反映社会现状。不过有时由于反映过度，一些流行语就会在以后（的时代）让人觉得恍如隔世，如在泡沫经济鼎盛期的1988年的“从5点开始的男人”和1989年的“你能24小时一直奋战下去吗？”等都是。我时常想起诸如此类的流行语，但实际上并没有机会用。

在10个最佳流行语中只有一个是21世纪的产物。据说，今年大奖赛的参赛候选词语颇多，甚为丰富（直译：丰收）。这次能否评选出流传后世的名句来呢？——我们翘首以待。

⑧ **注解**「後の時代からは遠くなる」指随着时间的推移，一些流行语会离人们越来越远，这是由于时代不同，社会变化大，所以会让人有隔世之感。

⑨ **注解**「5時から男」指到了下午5点下班时间，公司男职员就会精神活泼起来。亦即好不容易盼来下班，终于可以去吃喝玩乐了。「24時間戦えますか」是当年某药厂做的营养补剂电视广告，意思是喝了这种营养补剂，就可以精神百倍，干劲冲天。

⑩ **注解**「トップ10」指第1段提到的「過去のトップ10」，参阅注解③。

⑪ **注解**译句最后的“我们翘首以待”是根据原句的意思添加上的，为加译（原句没有）。



**生词&例句**

**【世相】** せそう 世态；世风；社会状况。

<例句> ●世相を反映する。⇒ 反映出社会状况。

●この事件に現代の世相がよく表れている。⇒ 此事件充分反映了现今社会的状况。

**【あまり】**（名词）（1）剩余；剩下。（2）过度；过于。



<例句> ●生活費のあまりを貯金する。⇒ 把生活费的余额存起来。

●喜びのあまり、声をあげる。⇒ 因过于高兴而欢呼起来。

【バブル】bubble。泡沫。

<例句> ●バブル経済。⇒ 泡沫经济。

●バブル（経済）がはじける。⇒ 泡沫经济破灭。

【<sup>ぜっちよう</sup>絶頂】顶峰；最高峰；无限。

<例句> ●山の絶頂。⇒ 山的顶峰。

●景気の絶頂。⇒ 景气之最高峰。

●喜びの絶頂にある。⇒ 沉浸在无限喜悦之中。

【<sup>おもだ</sup>思い出す】想起；想出；记起。

<例句> ●ちょうどいい言葉が思い出せない。⇒ 想不出最恰当的词。

●そのことはいまでも時々思い出す。⇒ 那件事情现在有时也会想起来。

【<sup>ほうさく</sup>豊作】丰收。

<例句> ●農作物は豊作だった。⇒ 庄稼丰收了。

●このところ連年豊作だ。⇒ 最近连年丰收。

【<sup>もんく</sup>文句】(1) 词句；话语。(2) 意见；牢骚。

<例句> ●同じ文句を繰り返す。⇒ 反反复复重复一句话。

●文句があるか。⇒ 你有意见吗？

日语难读词之角

- 雪崩 (なだれ) : 雪崩。  
雪崩が発生する。⇒ 发生雪崩。
- 冷奴 (ひややつこ) : 凉豆腐 (凉菜。最常见的做法是: 在凉豆腐上放姜末葱花、浇酱油)。  
冷奴の作り方。⇒ 凉豆腐的做法。
- 珠玉 (しゅぎよく) : (1) 珠玉; 珠宝。(2) 佳文; 佳作。  
珠玉の短編。⇒ 短篇佳作。

